

# 議会だより

162

H28.11.1

三芳町

平成27年度一般会計・特別会計・決算認定 ..... P 2  
一般質問(13人が町政を問う) ..... P 10  
各委員会報告 ..... P 18



議会だより発行月 2月 5月 8月 11月

平成28年10月10日に開催された町民体育祭

次の発行は2月1日の予定です。

# 認定しました

一般会計歳入総額

**151 億 1262 万 3114 円**

前年度に比べ 2 億 7607 万 9707 円減

一般会計歳出総額

**143 億 235 万 5514 円**

前年度に比べ 4 億 7755 万 7743 円減

一般会計歳入歳出の差引残額

**8 億 1026 万 7600 円**

反  
討  
対  
論

日本共産党

要（準要）保護児童・生徒就学援助費など評価できるが、反面、生活を支える扶助費の削減（高齢者の地域福祉バス利用券の縮小など）が問題。

安全対策が整わず、税金投入の大きい三芳スマート IC への大型車導入はやめること。学校給食費補助や保育料軽減などの社会保障の充実を求める。

賛  
討  
成  
論

公明党

財政状況の厳しい中、小学校の空調設備工事、保育所改築工事、デマンド交通の本格導入、三芳スマート IC 関連の測量や設計等の施策が展開され住民のニーズに応えたことは評価する。更に行財政改革に努め危機管理体制と防災対策の強化等を要望し賛成とする。

発議第 2 号 認定第 1 号平成 27 年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議

提案理由

平成 27 年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定の審査において、指摘された問題点について改善を求めるため提案したもの。

1. 決算書及び事項別明細書に関しては、上程前に各課において内容を精査し、数字及び内容に誤りがないようにすること。

平成28年  
第4回 臨時会  
(8月10日)  
第5回 定例会  
(8月26日~9月15日)

平成28年第4回三芳町臨時会が8月10日に開かれ町長提出の議案1件を原案通り可決しました。  
8月26日からは、第5回定例会が21日間の会期に渡り開かれました。  
この定例会では、議会運営委員会提出の発議を原案通り「可決」。町長提出の4件の報告があり、議案9件、認定6

件を原案通り「可決」「認定」しました。  
また、審議の結果、議員提出の意見書5件のうち、3件を「可決」、2件を「否決」としました。  
一般質問については、13名の議員が3日間の日程で行い、うち1日は「夜間議会」も開催され、思い思いの活発な議論が交わされました。

# 平成28年 第5回三芳町議会定例会 平成27年度の決算を

## 一般会計決算 歳出の主な事業

①ふるさと納税推進事業	平成27年10月から「ふるさと納税」を開始、寄付者に対し、寄付額に応じた謝礼を贈呈した。謝礼品を通じて当町のPRをするとともに、町内で生産・製造されたもの等を謝礼として使用し、経済活性化にもつなげている。	ふるさと納税寄付謝礼 330人 173万円
②行政改革推進事業	脱財政硬直化宣言の効果額を検証し「第5次行政改革大綱」のアクションプランの策定を行い、行政改革の推進を図った。	59万円
③駅前放置自転車対策事業	富士見市との協定に基づき、鶴瀬駅・みずほ台駅各西口の放置自転車の対策を実施。	自転車整理業務 撤去処分業務 735万円 47万円
④地域交通改善対策事業	交通空白地域の解消と交通手段の確保により住民の利便性を向上させるとともに、町内外の人の移動を活性化させるため、民間バス事業者に対し補助金を交付し、公共交通網の整備を図った。デマンド交通試行運転の結果を踏まえ、改善を加えたいえ、再度デマンド交通の試行運転を行った。	デマンド交通運行业務委託料 927万円
⑤防犯灯設置管理事業	住民の設置要望箇所、防犯上危険とみられる箇所に防犯灯を設置。蛍光灯からLED灯に移行を行った。	防犯灯新設工事費 防犯灯修繕料 99万円 330万円
⑥地域福祉バス利用助成事業	在宅の高齢者に対し、地域福祉バス利用料金を助成することにより、日常の利便性を図った。	地域福祉バス利用助成金 34740枚×230円 799万円
⑦老人福祉センター運営事業	高齢者を対象にレクリエーションや各教室を設けて、健康増進や教養の向上、仲間づくりの場の提供を行った。	ふれあいセンター管理運営委託料 3090万円
⑧こども医療費支給事業	0歳から中学校修了までを対象に入院通院の保険診療分に係る医療費を助成し、経済的支援により子育ての負担軽減を図った。	こども医療費 小中学生医療費 就学前医療費 7537万円 5889万円
⑨公立保育所改築事業	待機児童解消並びに経年劣化する施設の改善を図るため改築工事を実施。	第三保育所改築工事 4億9554万円
⑩妊婦健康診断事業	少子化対策及び母体や胎児の健康確保を目的として妊婦一般健康診査の公費負担の実施。	妊婦一般健康診査委託料 1969万円
⑪広域ごみ処理施設等建設事業	ふじみ野市・三芳町ごみ処理広域化基本計画の趣旨に基づき、広域でのごみ処理実現のため、平成28年度の稼働を目標にごみ処理施設の整備を実施。	広域ごみ処理施設等建設事業（三芳町負担分） 15億2849万円
⑫再生可能エネルギー等導入事業	補助金を活用し、三芳中学校に太陽光パネル（10kW）蓄電池（15kWh）の発電設備を設置し、災害時における最低限度の電力供給を確保。	三芳中学校再生可能エネルギー等設置工事 2104万円

# 決算特別委員会審査の 主な意見・質疑

## 主な意見

平成27年度決算を決算特別委員会で3日間にわたり審査しました。審査の経過を踏まえ、次のような意見と質疑が各委員からありました。

- ・デマンド交通事業について、利用料収入が委託料と相殺されているが、利用料総額と委託料総額を明確にすること。
- ・複合施設である中央公民館と給食センターの歳出について、光熱水費と委託料の一部が合算して計上されている。それぞれの施設で計上すべき。
- ・さらなる電気料金の削減努力として、複合施設等へのPPS導入などを検討するとともに、公共施設への太陽光パネル設置については、災害

対策や地球温暖化防止、電気使用料の削減に効果があるため今後も事業を継続すること。

- ・シルバー人材センターの庁舎の賃借料が不明確である。
  - ・一般会計で予備費充用したにも関わらず、不用額が充用額を超える項目が見受けられる。不用額が悪いわけではないが、充分注意し予算を執行すること。
  - ・国民健康保険特別会計への繰出金は減らさないこと。
  - ・財政投入が大きく、交通安全対策が不十分な状況での三芳スマートICの車種拡大は見直すべき。
  - ・職員削減ありきでない適正な人員配置を行うべき。
- ※意見は決算特別委員会の決定事項ではありません。

## 主な質疑

### ◆歳入◆



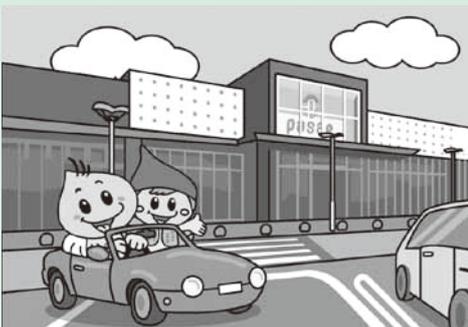
- 問** 法人住民税の減額について、税率が下がった事が要因か。
- 答** 年度途中から変更になったが、税率の影響よりも事業者の経営状況による影響が大きいと捉えている。
- 問** 多子世帯保育料軽減事業の対象数は。
- 答** 3人目以降の2歳までの子供が保育所を利用している場合に対象となる。対象数は42人。
- 問** ふるさと納税者の内訳及び希望用途で一番多いものは。
- 答** 町内が3人、町外が294人。使途は子育てに関する事業が一番

多く235万円。

### ◆歳出◆

#### 総務費

- 問** 広報配布委託料の増額要因は。
- 答** 単価の増による。
- 問** ふるさと納税寄付謝礼品の内訳は。
- 答** 平成27年度は15品目。
- 問** 三芳スマートIC整備NEXCO業務委託の内容は。
- 答** 高速道路との接続部分や本線に関わる付け替え道路等の測量調査、詳細設計、工事を委託し業務を行う。



**問** 藤久保拠点施設ワークショップ運営業務委託の内容は。

**答** 全2回実施。老朽化する藤久保拠点施設について、今後どういった施設が必要なのか協議を行った。

**問** 行政評価外部評価委員会の内容は。

**答** 42事業の外部評価を実施し、事業の妥当性の評価を行った。

**問** 駅前放置自転車対策負担金の減額要因は。

**答** 富士見市との協定内容の見直しを行ったため。

**問** 災害用PHSの台数は。

**答** 35台。

## 民生費

**問** 高齢者にやさしいまちづくり懇談会の内容は。

**答** 高齢者の安心安全・活動・活躍について現状と課題を整理し、ふれあいセンターの事業

をどのようにしていくかについて協議した。

**問** シルバー人材センターに登録している方の就職状況は。

**答** 登録者の8割程が仕事を求めていると聞いている。

**問** 老人福祉センター指定管理委託料の増額要因は。

**答** バスの委託料の増加と耐震診断の費用も含まれているため。

**問** 緊急時保護委託料について委託先と状況は。

**答** 町内の特別養護老人ホームへ委託し、平成27年度は5人を緊急保護している。

**問** メンタルチェックシステムの周知及び利用状況は。

**答** 卒業する中学生に周知を行い、アクセス数が増加した。

## 衛生費

**問** 三芳中学校再生可能エネルギー設置工事の効果は。

**答** 一般家庭の3軒分の発電量で職員室と体育館の照明に送電している。

**問** 不法投棄処分委託の減額は。

**答** 粗大ゴミが減少している。職員がパトロールを行い住民から情報を得ている。

## 農林水産業費

**問** みよし野菜6次産業創業塾の効果は。

**答** 延べ63人が参加し、生産者が販売戦略を考えられた。

**問** みよし野菜ブランド化推進支援事業の内容は。

**答** 都市農園の研究、マップ作りやレシピの配布。



**問** 落ち葉掃きの記念品は。

**答** 109名が参加し、みらいくんとのぞみちゃんのマグネットを配布した。

## 商工費

**問** 消費生活啓発品はどのように配布されているか。

**答** 暮らしの豆知識やクリアファイル等を消費生活のイベントや各学校の児童生徒に配布している。

## 土木費

**問** 都市公園の清掃等業務委託料増加の要因と内容は。

**答** 藤久保地域に3公園が設置され、除草やトイレの清掃等週5日間の清掃業務。

**問** 賠償保険料の減額は。

**答** 内容は変わらず契約会社の変更で減額となる。

## 教育費

**問** 中学校の吹奏楽部へ100万円の寄付の用途は。

**答** 各3校へ楽器備品として購入した。

**問** 中央公民館の機械警備委託料に給食センターも入っているのはなぜか。

**答** 併設の会館のため。  
**問** 給食センターの電気が約4倍の増額の要因は。

**答** 旧センターより面積増で中央公民館の電料と一緒にメーターになっている。





<b>歳入総額</b>	51億2657万9476円
一般会計からの繰入金	4億3500万円
昨年度からの繰越金	7973万2830円
<b>歳出総額</b>	51億1889万484円
保険給付費	30億4488万4472円
次年度への繰越金	768万8992円

## 国民健康保険

# 平成27年度 特別会計 歳入歳出決算

**反討 対論** **日本共産党**

平成27年度の介護保険料の基準額は、月額3300円から4000円になり、65歳以上の第1号被保険者にとって大幅な負担増となった。消費税増税、所得の減少、年金の削減で苦しむ町民に追い打ちをかけるもの。よって現状のサービスを後退させないことや特養ホームの増設を求め反対討論とする。

<b>歳入総額</b>	19億7951万959円
一般会計からの繰入金	2億5949万1100円
昨年度からの繰越金	2226万8473円
<b>歳出総額</b>	18億9136万1813円
保険給付費	18億53万7715円
次年度への繰越金	8814万9146円

## 介護保険



<b>歳入総額</b>	3億7363万7241円
一般会計からの繰入金	5895万59950円
昨年度からの繰越金	415万6451円
<b>歳出総額</b>	3億6629万9804円
後期高齢者医療広域連合納付金	3億6130万6000円
次年度への繰越金	733万7437円

## 後期高齢者医療

**反討 対論** **日本共産党**

10月より下水道使用料が平均7.7%値上げとなり、平成26年度の水道料金に続く値上げとなった。水道・下水道は人々が生活する上で必要不可欠のものである。実質所得がマイナスの中での町民への負担増は避けるべきであり、使用料を値上げすべきではなかったと考え反対する。

<b>歳入総額</b>	8億8933万2912円
一般会計からの繰入金	2億2500万円
昨年度からの繰越金	4664万8746円
<b>歳出総額</b>	8億47万78円
次年度への繰越金	8886万2834円

## 下水道事業



<b>収益的収支</b>	
収入	8億8877万2915円
支出	8億1094万3614円
<b>資本的収支</b>	
収入	4億3258万1905円
支出	5億8407万3895円

# 平成27年度 水道事業会計 決算

# 条例

## 議案第38号

### 三芳町老人福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例

老人福祉センターの老朽化に伴い耐震診断をした結果、継続して使用することが不可能な状況になったことにより、老人福祉センターを廃止することになったため。

## 議案第39号

### 町(字)の区域の変更

土地区画整理事業の換地処分に向け、従前の字界では行政遂行上及び維持管理上支障が生じるので、換地処分後の整備された道路界を新たな字界とするため。

## 議案第40号

### 三芳町道路線の認定

私道が町に寄付採納されたことにより、町道として使用するための認定。

## 議案第41号

### ふじみ野市の三芳町区域内に係る道路認定に関する承諾

ふじみ野市道内に、三芳町分が一部あることにより、ふじみ野市の道路管理上不都合があるため、ふじみ野市において三芳町分も含めて認定することの同意。

## 議案第42号

### 平成27年度三芳町水道事業会計未処分利益剰余金の処分

平成27年度に生じた剰余金(平成27年度の純利益等)の使い道等についての議決  
平成28年度

## 補正予算

## 議案第43号

### 一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億570万

9000円を追加し、総額をそれぞれ128億3692万1000円とするもの。

### 主な内容

#### 歳入

①ふるさと納税寄付金 4400万円

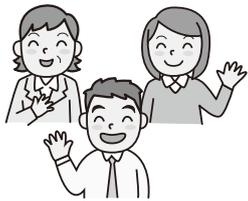
②前年度繰越金 5億7387万3000円

#### 歳出

①ふれあいセンター管理運営委託料(10月～3月) 1750万円



厚生文教常任委員会で視察したふれあいセンター代替予定施設



②広域ごみ処理施設等建設事業費負担金 1億2290万2000円



完成した広域ごみ処理施設の視察風景

③道路修繕工事 5000万円

## 議案第44号

### 介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8870万1000円を追加し、総額をそれぞれ22億4437万6000円とするもの。

### 主な内容

①介護保険給付費準備基金積立金 6412万7000円

②国庫補助金等償還金 1501万5000円

## 議案第45号

### 下水道事業特別会計補正予算(第2号)

公共下水道費400万7000円を減額し、総務管理費に400万7000円を振り替えたもの。

### 主な内容

①人事異動等による減額分を下水道整備基金に積立てる 1068万6000円

## 議案第46号

### 水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出の予定額に1055万円を追加し、8億4687万円とするもの。資本的支出の予定額5億2597万1000円から12万6000円を減額し、5億2584万5000円とするもの。

### 主な内容

①人事異動等による増減

## 意見書

## 意見書第11号

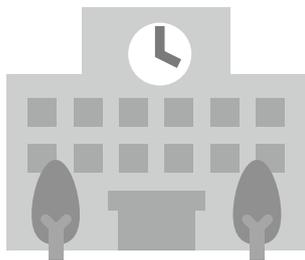
## チーム学校推進法の早期制定を求める意見書

学校が直面する諸課題が複雑化している中、学校に求められる役割は増大し、そこにかかわる教員の長時間勤務等も問題となつている。

学校の教職員等がそれぞれの専門的な知識又は技能を活用しつつ、チームとして連携・協同して行う学校運営を推進する法律の早期制定を求める。

(提出先)

内閣総理大臣  
文部科学大臣  
総務大臣



## 意見書第12号

## 無年金者対策の推進を求める意見書

65歳以上の無年金者は最大42万人と推計されている。年金の受給資格期間を10年に短縮すれば、無年金者の約4割にあたる17万人が受給権を得るとしている。無年金者対策を進めるため、受給資格期間を25年から10年に短縮する措置について、2017年度中に実施できるように体制整備を求める。

(提出先)

内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣



## 意見書第13号

## 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

奨学金制度の利用者は増加傾向にある一方、卒業後の収入が安定せず、返済に悩む人が少なくない。学生が安心して勉学に励めるよう、授業料減免などの支援を拡充するとともに、返済不要の給付型奨学金の創設や無利子奨学金の拡充など、具体的な経済支援策を講じることを求める。

(提出先)

内閣総理大臣  
文部科学大臣



## 平成28年 第4回 臨時会(8月10日)

平成28年8月10日に第4回臨時会が開催されました。

議題は議案第37号一般会計補正予算(第3号)で、歳入歳出に7411万6000円を追加するものです。

内容は国の「地方創生加速化交付金」として「(仮称)IMOトピア(拠点施設)整備による地域活性化事業」を申請し、一部を除いて7411万6000円が認められたため上富の農業センターを地域拠点施設として整備します。

# 審議結果と議員ごとの賛否内訳

## ■平成 28 年第 4 回臨時会 審議結果

○賛成 ×反対

議案等 番号	議案等名称	議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党		新芳会		久保 健二	鈴木 淳
			安澤 豊	井田 和宏	菊地 浩一	拔井 尚男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	細田 三恵		
議案第 37 号	平成 28 年度三芳町一般会計補正予算 (第 3 号)	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## ■平成 28 年第 5 回定例会 審議結果

報第 8 号	平成27年度三芳町健全化判断比率の報告について		報告のみ													
報第 9 号	平成27年度三芳町下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		報告のみ													
報第 10 号	平成27年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ													
報第 11 号	平成27年度三芳町水道事業会計継続費精算報告書について		報告のみ													
議案第 38 号	三芳町老人福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	町(字)の区域の変更について	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	三芳町道路線の認定について	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 41 号	ふじみ野市の三芳町区域内に係る道路認定に関する承諾について	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	平成28年度三芳町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 44 号	平成28年度三芳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 45 号	平成28年度三芳町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 46 号	平成28年度三芳町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第 1 号	平成27年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
発議第 2 号	認定第1号平成27年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議	原案可決	○	○	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第 2 号	平成27年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第 3 号	平成27年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第 4 号	平成27年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第 5 号	平成27年度三芳町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第 6 号	平成27年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	平成27年度三芳町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要望第 3 号	核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書		配付のみ													
意見書第 11 号	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書について	原案可決	○	○	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
意見書第 12 号	無年金者対策の推進を求める意見書について	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第 13 号	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書について	原案可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第 14 号	障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書について	否決	×	×	議長	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
意見書第 15 号	核兵器全面禁止に向けた取り組みを求める意見書について	否決	×	×	議長	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×